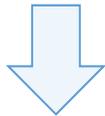


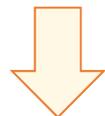
① これまでの活動と郡山市のセーフコミュニティ推進体制

2014年	11月	セーフコミュニティ取組宣言
2015年	5月	郡山市セーフコミュニティ推進協議会設立
2016年	11月	認証審査員による事前指導
2017年	11月	認証審査員による現地審査
2018年	2月	認証取得(県内初、国内15番目)

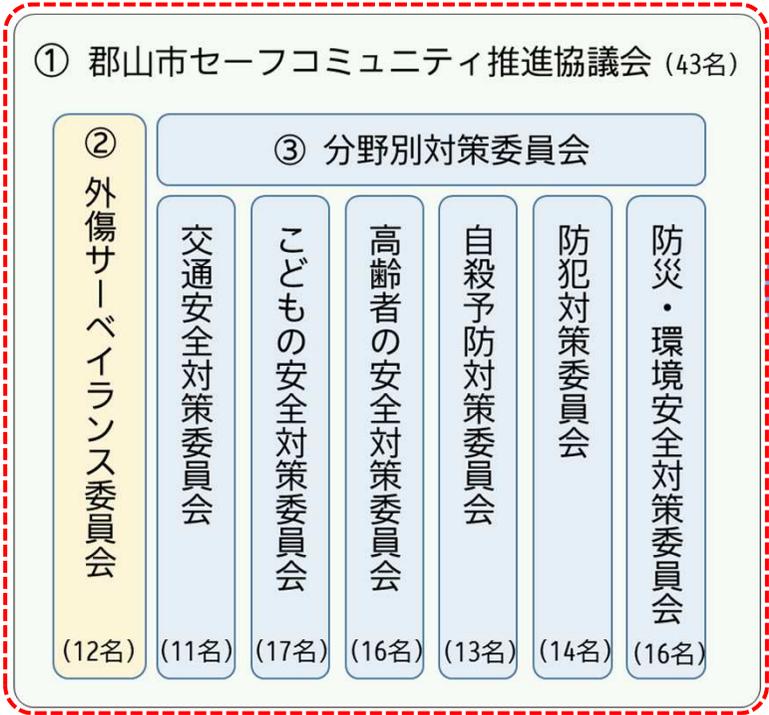


セーフコミュニティ活動を継続

2021年	11月(予定)	認証審査員による事前指導
2022年	11月(予定)	認証審査員による現地審査
2023年	2月(予定)	再認証取得



セーフコミュニティ活動を継続



それぞれの役割

- ① 分野の垣根を超えた全市的な推進母体
- ② データ等の収集・分析、活動の検証
- ③ 分野別の課題解決に向けた専門部会
- ④ 行政としての取組方針の決定
本部長：市長、副本部長：副市長、教育長、上下水道事業管理者、本部員：各部局長

② 2023年再認証に向けた事前指導

2018年2月の国際認証取得から4年目となる今年度は、11月に海外のセーフコミュニティ認証審査員による再認証に向けた事前指導を予定。

3月の世界セーフコミュニティ認証センター理事会において、今年度の事前指導は、オンラインで実施することが決定。

実施時期 11月中で調整中、2日間
実施方法 オンライン（来年の現地審査については未定）
審査員 2～3名

【概要】

- ・セーフコミュニティ推進体制の説明
- ・外傷サーベイランス委員会の活動報告
- ・6つの分野別対策委員会の活動報告
- ・審査員による質疑、講評

【事前指導のポイント】

- ・セーフコミュニティ 7つの指標との整合性※
- ・P D C Aに基づいた取組みになっているか

〔データ収集・分析と取組みへの反映〕
取組みの質の向上 など



※7つの指標（セーフコミュニティとなるための7つの指標）

- 1 分野の垣根を越えた協働を基盤とした推進組織を設置する。
- 2 両性・全年齢、あらゆる環境・状況をカバーする長期プログラムを継続的に実施する。
- 3 ハイリスクの集団・環境及び弱者を対象としたプログラムを実施する。
- 4 根拠に基づいた取組みを実施する。
- 5 外傷が発生する頻度とその原因を記録するプログラムを実施する。
- 6 プログラムの内容・実施行程・影響をアセスメントするための評価基準を設定する。
- 7 国内外のセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加する。

